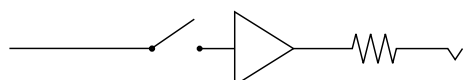


CUSTOM AUDIO JAPAN



Audio & MIDI Controller RS 616 User's Guide

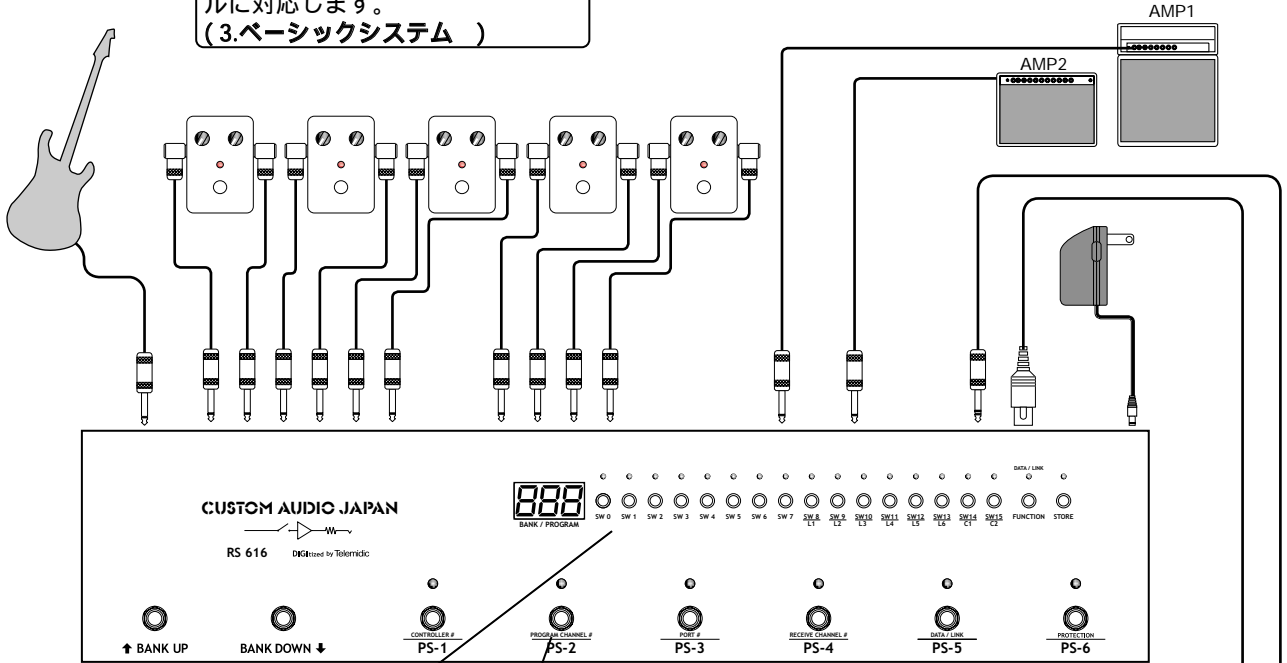
1.はじめに

CAJ RS616は、ギター・サウンドシステムのトータルコントロールを行うスイッチングシステムとして下記のような様々な機能を備えています。使用に際しましてはこのマニュアルを熟読しRS616の機能と可能性を十分に引きだして下さい。

RS616についての新しい情報は <http://www.custom-audio.com> をご覧下さい。
製品に対するご意見、ご質問は rs616@custom-audio.com へお願い致します

A・B 2系統のエフェクトチェーンにそれぞれ3ループを装備。チェーンAをアンプの手前に、チェーンBをプリアンプの後に接続する等、システムのレイアウトにフレキシブルに対応します。
(3.ベーシックシステム)

2系統のコントロールファンクションで2台のアンプを使用する場合やアンプのチャンネル切換に対応します。
(2C.コントロールファンクションについて)



コントロール・スイッチ(SW0-SW15)はMIDIコントロール・コマンドを送信、外部のオーディオコントローラーやマルチエフェクトの内部エフェクト・ブロック等を最大16までコントロールできます。
(SW8-SW15は本体のLoop,C1,C2のON/OFFと共通です。)
(5-1.コントロールスイッチの設定)
(2-A.コントロールコマンドについて)

コントロールスイッチの組み合わせをプリセットして、接続したエフェクトやアンプを瞬時にコントロール出来ます。
40Bank x 6t=240Presetが可能です。
(3-3.プリセットについて)

プリセットの呼び出しと同時に任意に設定した6チャンネルのMIDIプログラムチェンジ・コマンドを送信します。最大6系統のMIDI機器をRS616で集中管理出来ます。
(5-3.プログラムチェンジチャンネルの設定)
(7.プログラムナンバーの送信)

MIDI機器のパラメータをリアルタイムに連続可変するMIDIコンテンツ・コントロールに対応したMIDIポートです。
(5-4.MIDIポートの設定)

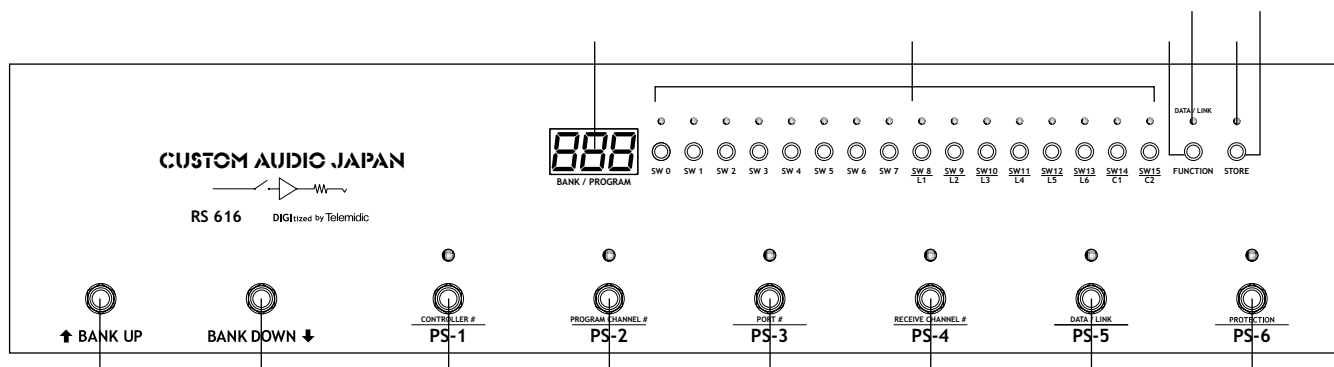
RS232Cポートで、コンピュータとデータの受け渡しが可能です。データはcsv形式ですので表計算ソフトでの編集にも対応します。
(9-2.コンピュータとのデータ通信)
(9-4.コンピュータのデータを編集)

シリアル転送方式によるマスタースレーブ・モードで、2台のRS616の安定したリモート・コントロールが可能です。
(8.マスタースレーブモード)

コントロール・スイッチの機能を無効にするプロテクト・モードで、演奏中に起こりがちなプリセットの書き換えを防ぎます。
(6.プロテクトモード)

2.各部の名称と機能

2-1.TOP PANEL



ディスプレイ

通常の操作を行うオペレーションモードではRS616のバンクナンバーを表示します。エディットモードではRS616の各種設定に必要な情報を表示します。

コントロールスイッチ (SW0 - SW15)

LoopのON/OFFとMIDI コントロール・コマンドを送信するスイッチです。スイッチを押すと設定されたコントロール・コマンドを送信しインディケータが点灯します。SW8 - SW15はLoop1 - Loop6とC1,C2のON/OFFも行います。

2-A. MIDIコントロール・コマンドとは

CAE4x4,2x4,PatchMate,GCX等のオーディオコントローラ-はMIDIコントロール・コマンドで制御されます。また多くのマルチエフェクトも内部エフェクト・ブロックのON/OFFをMIDIコントロール・コマンドで行います。

これらの機器は各Loopや内部エフェクトのそれぞれにコントロール・ナンバーが設定されていて、対応したコントロールナンバーのバリュ-127を受信するとON,バリュ-0を受信するとOFFとなります。

また,MIDI VCA等のパラメータをエクスプレッションペダルでコントロールするMIDIコンティニューアス・コントロールは,コントロール・コマンドのバリュ-(0-127)を連続可変させ,音量やディレイタイムをリアルタイムにコントロールする機能です

- * CAE4x4のLoop1はMIDIコントロールナンバーが11(初期値)に設定されているので,RS616のSW0のコントロールナンバーを11に設定すればSW0で4x4のLoop1が制御出来ます。
- * PatchMateはRoctron社,GCXはDigital Corp社の登録商標です。

Function

RS616の各機能を設定するエディットモードにアクセスするスイッチです。

DATA/LINK インディケータ

② DATE/LINKポートをコンピュータや他のRS616と接続し,データの受け渡しやリモートコントロールが可能な状態の場合に点灯します。

Store

コントロールスイッチの組み合わせやMIDIコントローラ-としての各設定を保存するスイッチです。既存のプリセットが変更されるとストア・インディケータが点滅し,スイッチを押すと現在の状態が保存されます。

Store インディケータ

オペレーションモードでは既存のプリセット内容が変更された場合に点滅し,プリセット内容が更新されていることを示します。エディットモードではパラメータのエディット中に点滅します。

2-B. オペレーションモードとエディットモード

RS616でMIDIやオーディオを制御する通常の使用状態をオペレーションモードと呼びます。また,RS616のMIDIコントローラ-としての機能を設定したりデータの受け渡しやリンクの設定を行うモードをエディットモードと呼びます。RS616のプリセット・スイッチ(PS1-PS6)はエディットモードへのアクセスに使用される他,MIDIの設定項目の呼び出しにも使用します。

Bank Up

バンクとはプリセットを格納するグループで,1つのバンクにPS1からPS6の6プリセットが可能です。このスイッチを押すとバンクナンバーが1つずつUPし,スイッチを押し続けるとバンクナンバーは連続してUPします。

バンクナンバーは ディスプレイに表示されます。

Bank Down

このスイッチを押すとバンクナンバーが1つずつDOWNします。スイッチを押し続けるとバンクナンバーは連続してDOWNします。

*バンクアップ/ダウン・スイッチはエディットモードでも使用します。

PS1 / Controller#

Operate Mode : プリセット1(PS1)を呼び出します。

Edit Mode : コントロールスイッチが送信するコントロールコマンドのナンバーとMIDIチャンネルをエディットするモードへアクセスします。

PS2 /Program Channel#

Operate Mode : プリセット2(PS2)を呼び出します。

Edit Mode : プリセットスイッチを押したときに送信されるMIDIプログラムチャンネルをエディットするモードへアクセスします。

PS3 / Port#

Operate Mode : プリセット3(PS3)を呼び出します。

Edit Mode : P1及びP2(オプション)のMIDIコントロールナンバーとチャンネルをエディットするモードへアクセスします。

PS4 / Receive Channel#

Operate Mode : プリセット4(PS4)を呼び出します。

Edit Mode : RS616がMIDIデータを受信するチャンネルを設定するモードへアクセスします。

PS5 / Date/Link

Operate Mode : プリセット5(PS5)を呼び出します。

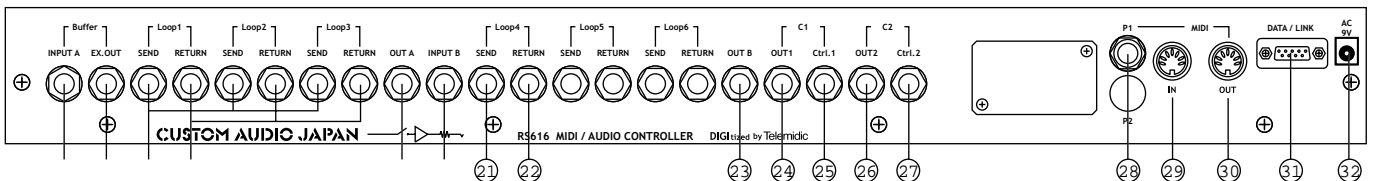
Edit Mode : マスタースレーブ・モードとデータリンクの設定画面へアクセスします。

PS6 / Protect

Operate Mode : プリセット6(PS6)を呼び出します。

Edit Mode : プリセットの書き換えを防ぐプロテクトモードの設定画面へアクセスします。

2-2.REAR PANEL



INPUT A

エフェクトチェーンAの入力ジャックです。

EX. OUT

インプット・バッファー回路の後にある出力ジャックです。チューナー等の接続に使用します。

Loop Send

エフェクトへの出力です。ONの場合インプットAに入力された信号が出力されます。OFFの場合はグラウンドにショートしインプットAからの入力信号は次のLoopに送られます。

(Loop3の場合は アウトAに送られます。)

Loop Return

エフェクトからの入力です。ONの場合この端子に入力された信号が次のLoopに送られます。

(Loop3の場合は アウトAに送られます。)

OUT A

エフェクトチェーンAの出力です。

INPUT B

エフェクトチェーンBの入力です。このジャックにプラグを接続しない場合は アウトA ジャックの信号が自動的に入力されます。

㊦ Loop Send

エフェクトへの出力です。ONの場合インプットBに入力された信号が出力されます。OFFの場合はグラウンドにショートしインプットBからの入力信号は次のLoopに送られます。

(Loop6の場合は㊦アウトBに送られます。)

② Loop Return

エフェクトからの入力です。ONの場合この端子に入力された信号は次のLoopに送られます。
(Loop3の場合は②アウトBに送られます。)

② OUT B

エフェクトチェーンBの出力です。

2-C. コントロールファンクションとは

RS616は出力をミュートして2台のアンプを制御する為のスイッチド・アウトとアンプのチャンネル切換等を行うラッチ・スイッチを2系統備えています。スイッチド・アウト1(OUT1)とラッチ・スイッチ1(Ctrl.1)はコントロールスイッチのC1で、スイッチド・アウト2(OUT2)とラッチ・スイッチ2(Ctrl.2)はコントロールスイッチのC2でそれぞれ同時に動作します。

② OUT 1

コントロール・スイッチのC1(SW14)がONの時、エフェクトチェーンBの信号を出力をするスイッチド・アウトです。

② Ctrl.1

アンプのチャンネル切換等に使用するラッチタイプのスイッチです。ONでホット端子とグランド端子がショートします。コントロール・スイッチのC1(SW14)でON/OFFします。

② OUT 2

コントロール・スイッチのC2(SW15)がONの時、エフェクトチェーンBの信号を出力をするスイッチド・アウトです。

② Ctrl.2

アンプのチャンネル切換等に使用するラッチタイプのスイッチです。ONでホット端子とグランド端子がショートします。コントロール・スイッチのC2(SW15)でON/OFFします。

② P1

MIDIエクスプレッションペダルを接続するポートです。

② MIDI IN

MIDIの入力端子です。外部のMIDI機器でRS616をコントロールする場合に使用します。PIN6,7は電源入力端子として使用できません。

③ MIDI OUT

MIDIの出力端子です。RS616をMIDIコントローラーとして使用する場合に外部のMIDI機器にMIDI信号を出力します。PIN6,7は電源入力端子として使用できません。

③ DATA / LINK ポート

2台のRS616をリンクしたり、コンピュータとのデータ通信をするD-sub 9pinコネクタ-です。

③ AC9V

AC9VもしくはDC9Vのパワーサプライを接続します。500mA以上2.5mmタイプのアダプターを使用してください。

3. 基本的な使用方法

3-1. ブロックダイアグラム(信号の流れ)

RS616の機能を発揮したサウンドシステムを製作するには、信号の流れを理解する事が不可欠です。また、ブロックダイアグラムを理解していれば不意なトラブルにも迅速に対応できます。

Loop について

Loopは右図の様に2つのスイッチの組み合わせでLoop OFF時にはLoopの入力信号が直接次のLoopやアウトプットに送られます。LoopがONの時はLoopの入力信号はSendからエフェクトに送られエフェクトからReturnに返された信号は次のブロックに送られます。

破線は2つのスイッチが連動していることを示します

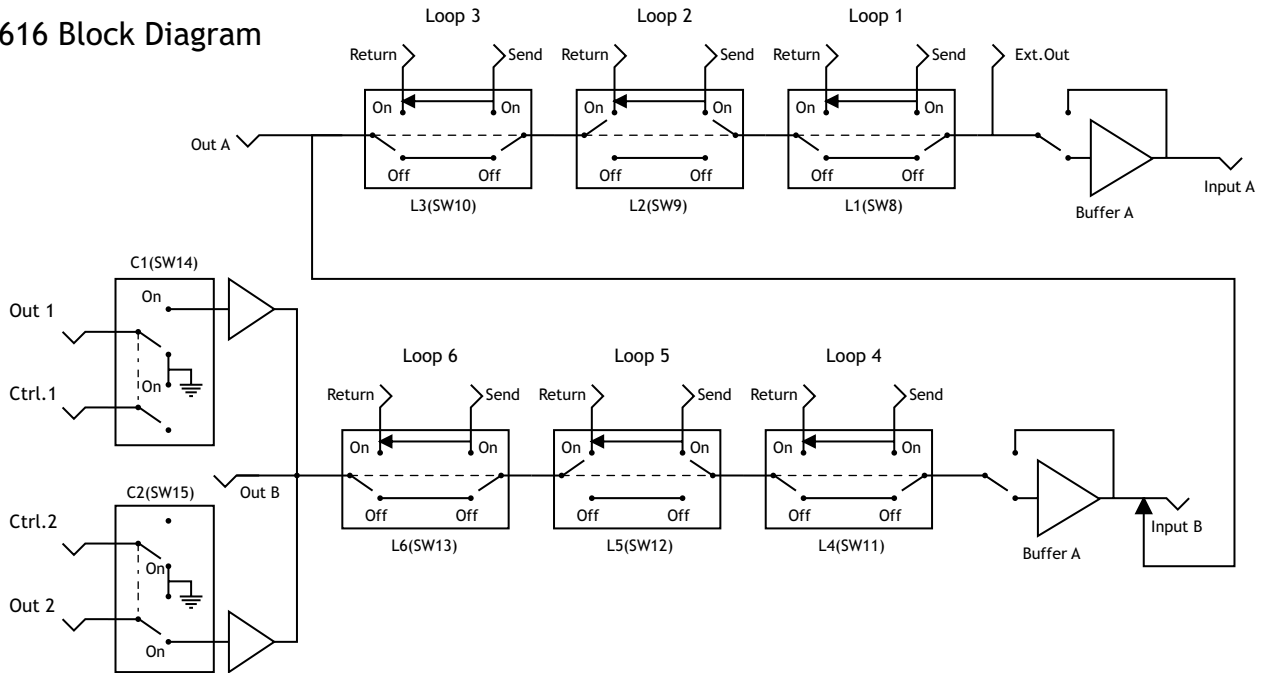
Loop OFF

Loop ON

Loopに何も接続しない状態では、Sendの信号が直接Returnに送られますので、誤ってコントロール・スイッチを押しても音切れ、ノイズ等のトラブルは発生しません。

RS616は3Loopをシリーズ(直列に)接続したエフェクトチェーンを2系統備えています。Input Bにプラグを接続しない場合、Out Aの出力は自動的にInput Bに入力されます。

RS616 Block Diagram



Out Bの出力信号を2系統に分岐し、バッファ回路を経由したスイッチド・アウト(Out 1, Out 2)で2台のアンプを使用することが可能です。またアンプのチャンネル切換等を行うラッチ・スイッチ(Ctrl.1, Ctrl.2)も2系統備えOUT1とCtrl.1はコントロール・スイッチのC1で、OUT2 Ctrl.2はコントロール・スイッチのC2で動作します。

エフェクトチェーンAとエフェクトチェーンBはそれぞれインプット・バッファ回路を備えています。このバッファは内部のスイッチでバイパスすることも可能です。 *1

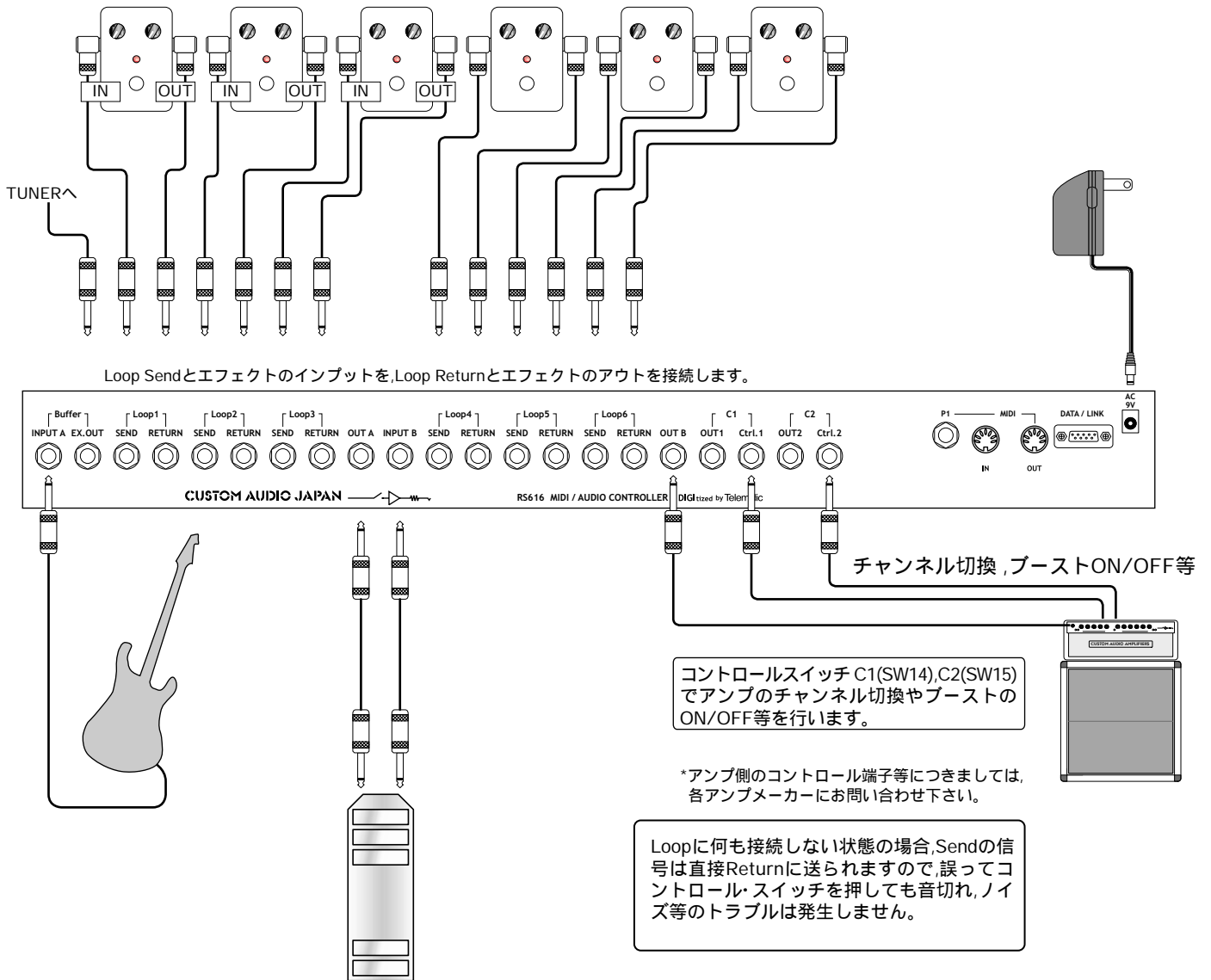
*1 インプットバッファのバイパスについては販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい

3-2. 接続方法

サンプルセッティングを例に説明します。

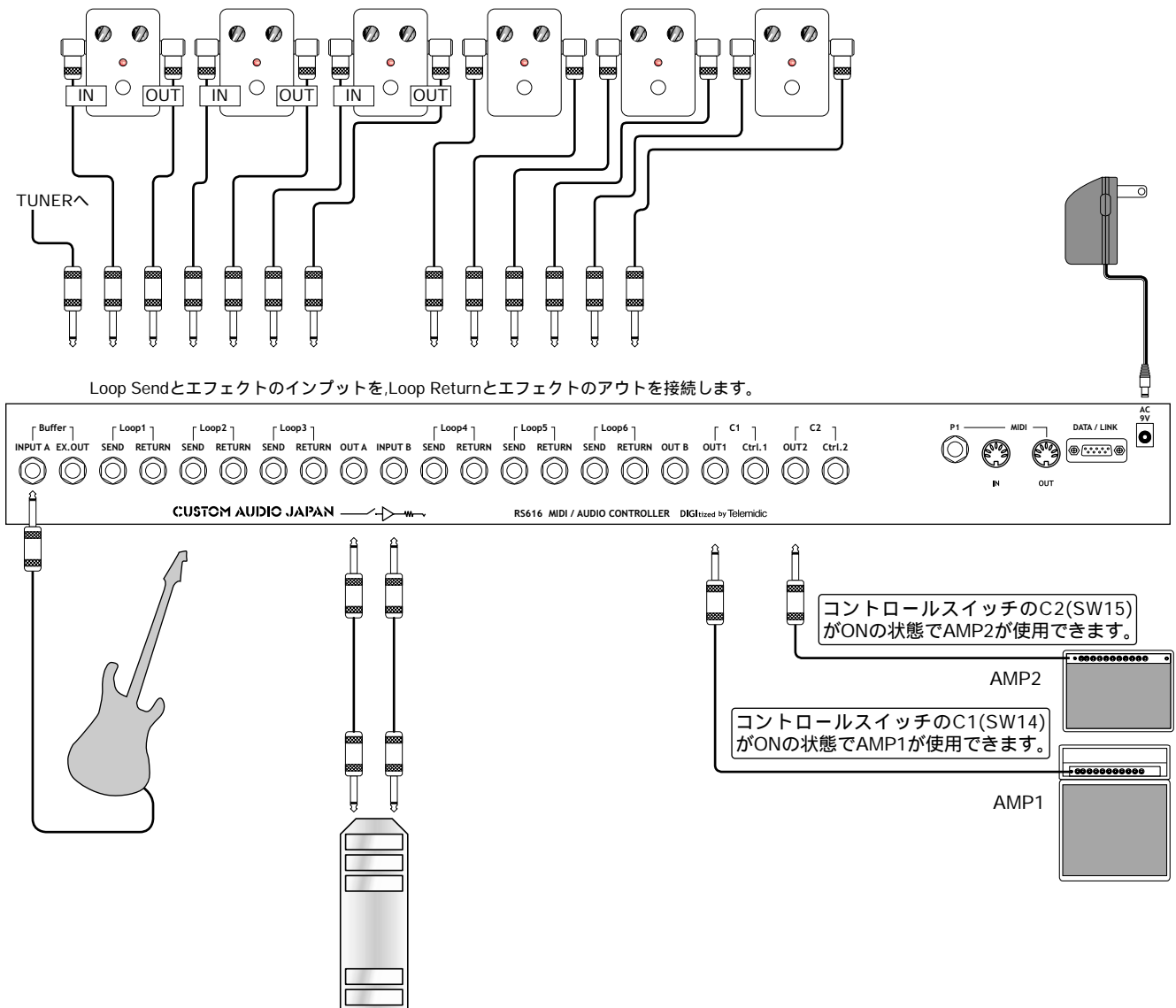
Sample Setting (Pedal Effects & Multi Channel Amp System)

ペダルエフェクトとギターアンプのシンプルなサウンドシステムです。
アンプがマルチチャンネルの場合はCtrl.1, Ctrl.2でチャンネルの切替をします。



Sample Setting (Pedal Effects & 2 Amp System)

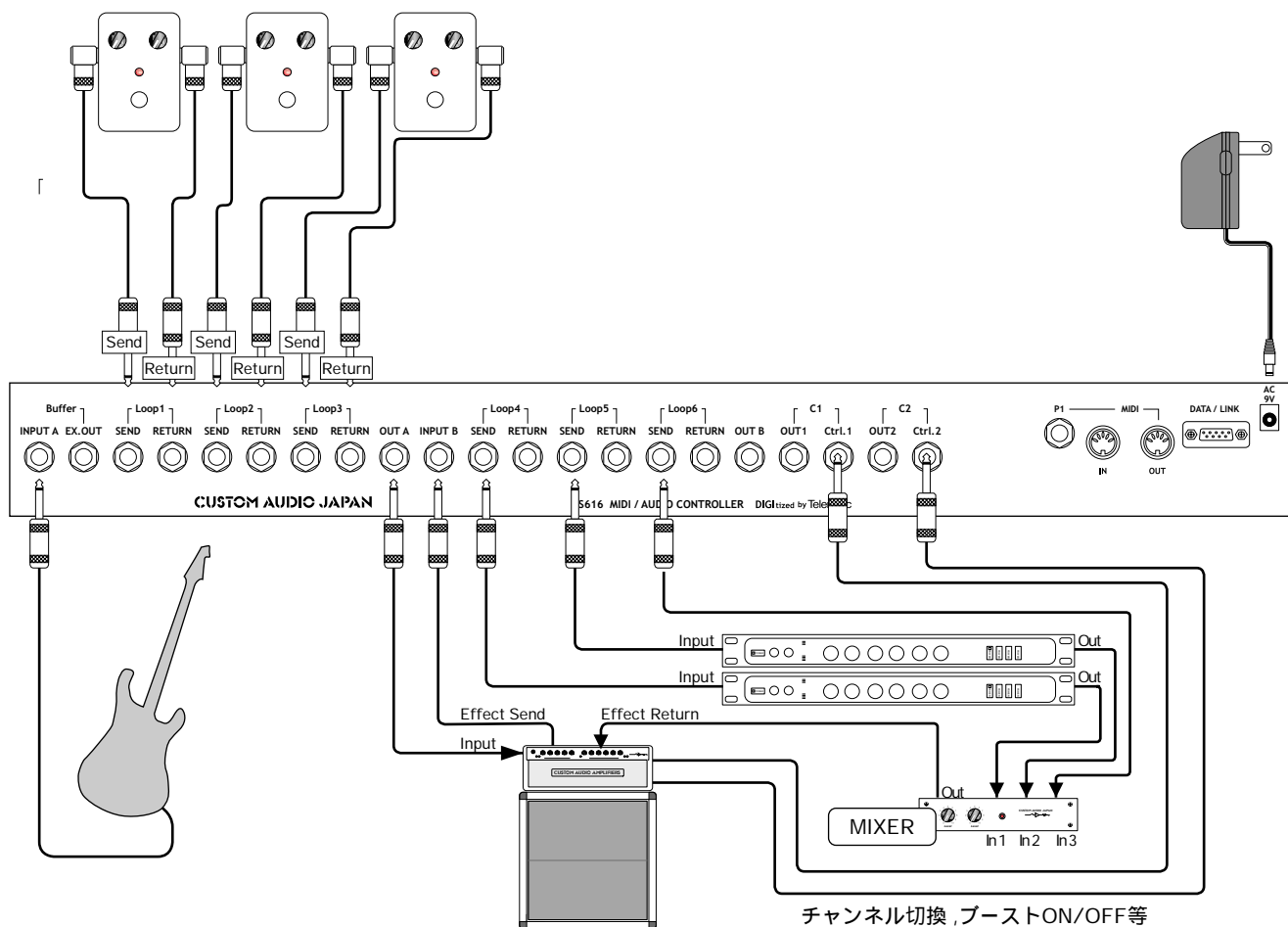
2台のアンプをOUT1,OUT2に接続し各アンプへの出力をC1,C2でコントロールします。



Sample Setting (Pedal Effects & Analog Rack Effects System)

チェーンAにペダルエフェクトを接続。チェーンBにアナログのラックエフェクトを接続した例です。アンプのエフェクトセンドからチェーンBのインプットを接続。LoopのSendからラックエフェクトに信号を送り出します。Loop6はダイレクトサウンドのON/OFF用です。

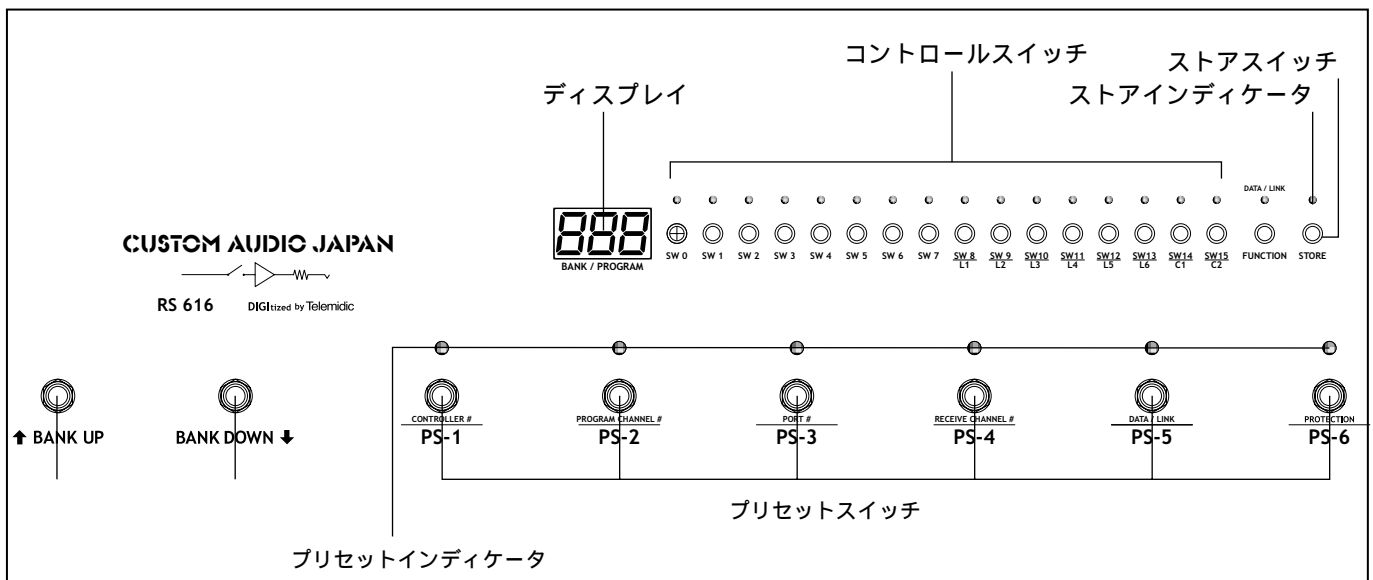
* ここで言うラックエフェクトとは、入力がアンプのエフェクトセンド(ライン出力)に対応している機器を意味します。



3-3. プリセット方法

コントロールスイッチの組み合わせをプリセットして、エフェクトやアンプの状態を瞬時に呼び出すことができます。プリセットの手順は下記のように行います。

1. プリセットナンバーを選びます。プリセットナンバーはBANKとPS1-PS6の組み合わせで、BANK "12"の"PS3"はプリセットナンバー"12-3"となります。
最初に BANK UP もしくは BANK DOWNでBANKを選択します。BANKは ディスプレイに表示されます。
次にPS1-PS6を選択します。
RS616は40のバンクに各6プリセットの240プリセット"に加え1つのグローバルプリセット(全BANK共通のプリセット)を記憶できます。
2. 使用するエフェクトやアンプ、アンプのチャンネル等に対応した コントロールスイッチを選びます。
3. ストア・インディケータとプリセット・インディケータが点滅します。ストア・インディケータは既存のプリセットが変更されると点滅します。プリセットスイッチのインディケータはプリセットかバンクが変更されると点滅します。この時点でプリセットスイッチを押すとプリセットの内容は変更されず元の状態に戻ります。
4. STOREを押します。ストアインディケータが消え コントロールスイッチの組み合わせがプリセットされます。



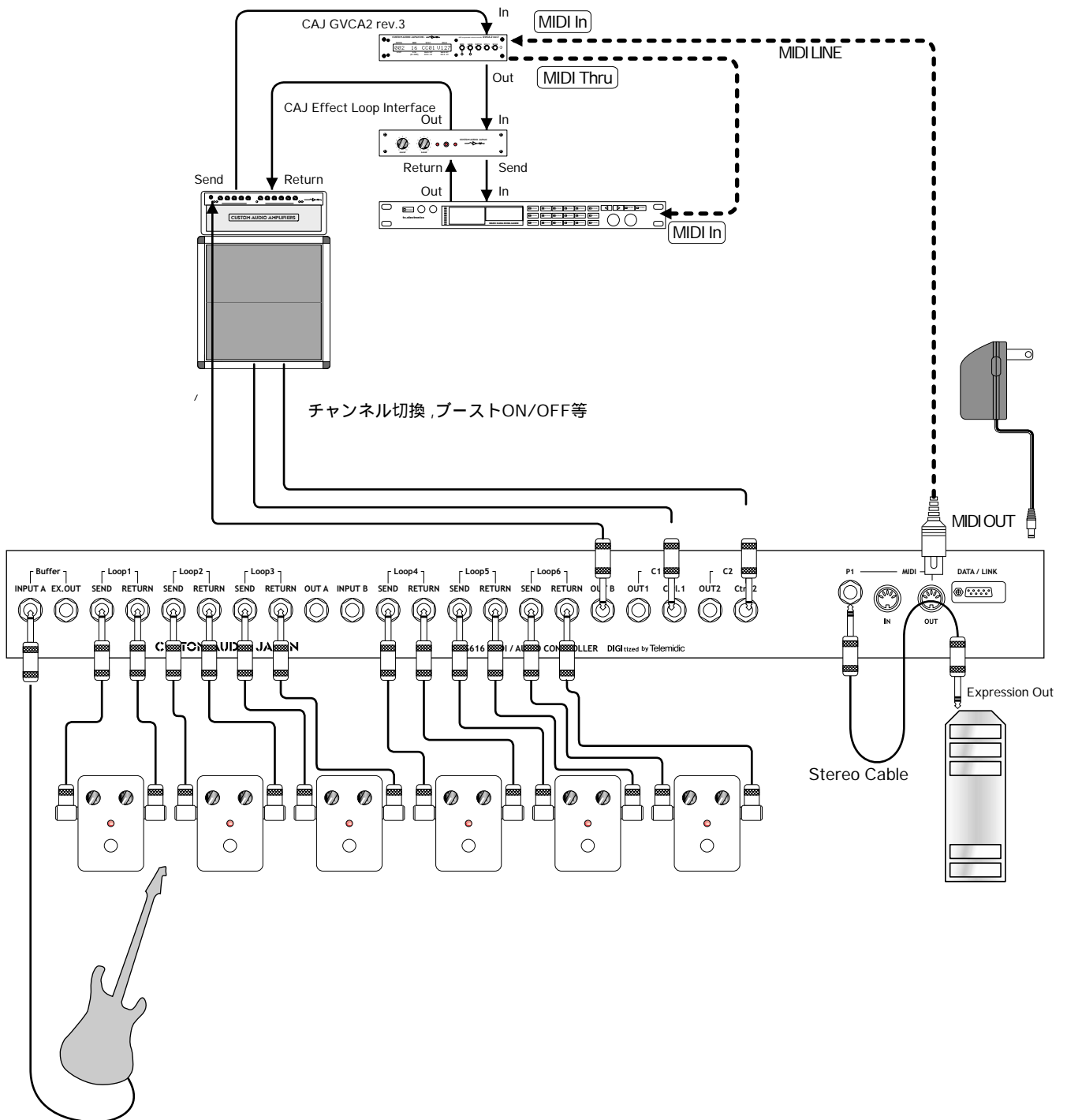
3-A. グローバル・プリセットについて

選択状態のプリセットスイッチを再度押すと全てのプリセットインディケータが消灯した状態になります。この状態で コントロールスイッチを選択すると"グローバル・プリセット"として保存されます。グローバルプリセットは、すべてのBANKにおいて選択状態のプリセットスイッチを再度押し全てのプリセットインディケータが消灯した時に呼び出されます。

- * グローバル・プリセットどのバンクでも共通ですので、基本になる音色やチューニング時のミュート等をプリセットすると良いでしょう。
- * グローバル・プリセットは STOREを押さなくても保存されます。

Sample Setting (Pedal Effects & MIDI Multi Effect)

ベーシック・システムに1台のMIDI機器を追加したシンプルなシステムです。MIDIエフェクトの内部エフェクトブロックをRS616のコントロールスイッチでON/OFFすることで、複数のエフェクトを接続したような効果が得られます。GVCA2で各プリセットのアウトプットレベルもメモリー出来ますのでシンプルながら十分なパフォーマンスをもったシステムです。



5.MIDIの設定

5-1.コントロールスイッチの設定

5-1-1. MIDIコントロールコマンドの設定

コントロールスイッチはMIDIコントロールコマンドを送信してMIDIマルチエフェクトのエフェクトブロックやオーディオコントローラーのON/OFFを行います。最初にMIDIコントロールコマンドのナンバー(コントロールナンバー)とMIDIチャンネルを設定します。

1. PS1を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに "Sc" と表示されます。"Sc"はスイッチ-コントロールコマンドの略でコントロールナンバーを設定するモードを表しています。MIDIチャンネルを設定する場合は BANK UPを押します。表示が "SC" に変わりMIDIチャンネルを設定するモードになります。
4. コントロールコマンドを設定するコントロールスイッチSW0-SW15を選択します。コントロールスイッチのインディケータが点灯し、ディスプレイにコントロールスイッチのナンバーとコントロールナンバーが交互に表示されます。

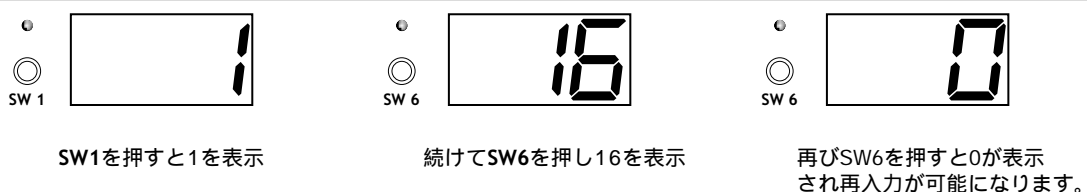
(例) コントロールスイッチ SW4を選択し、SW4のコントロールナンバーが "15" に設定されている場合
ディスプレイには下図のように表示されます。



5. コントロールナンバーを入力します。ナンバーの入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。

SW0-SW9で入力する場合

1を入力する場合はSW1を、18を入力する場合はSW1とSW8を続けて押します。同様に127を入力する場合はSW1,SW2,SW7を順番に押します。入力を間違えた場合は128以上の数字になるような任意のスイッチを押します。ディスプレイに0が表示され再入力が可能になります。



右上はコントロールナンバーとして無効な数字 "166" が入力された為に入力ミスと判断し、再入力が可能になった状態です。再入力の際は0が表示されるまで任意の数字を押してください。

BANK UP/DOWN で入力する場合

コントロールスイッチを選択して、ディスプレイにスイッチナンバーとコントロールナンバーが表示された状態でBANK UPを押すとコントロールナンバーが1つつUPし、スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとコントロールナンバーが1つつDOWNし、押し続けると連続してDOWNします。

6. STOREを押し、設定を保存します。コントロールスイッチのインディケータが消灯し、次に設定するコントロールスイッチが選択できます。設定を終了する場合はFUNCTIONを押しオペレートモードに戻ります。

* コントロールナンバーを設定するコントロールスイッチを選択するとインディケータが点灯し、選択されたスイッチがエディット中であることを示します。この状態で別のコントロールスイッチを再選択する場合は一度STOREを押しコントロールスイッチのインディケータが全て消えている状態にして下さい。エディット中は常にストアインディケータが点滅します。

5-1-2. MIDIチャンネルの設定

1. 前述の1.-3.を繰り返し、ディスプレイに "Sc"が表示された状態にします。
2. BANK UPスイッチを押します。ディスプレイの表示が "SC" に変わります。
3. MIDIチャンネルを設定するコントロールスイッチをSW0-SW15を押して選択します。コントロールスイッチのインディケータが点灯しディスプレイに選択されたコントロールスイッチのナンバーとMIDIチャンネルが交互に表示されます。

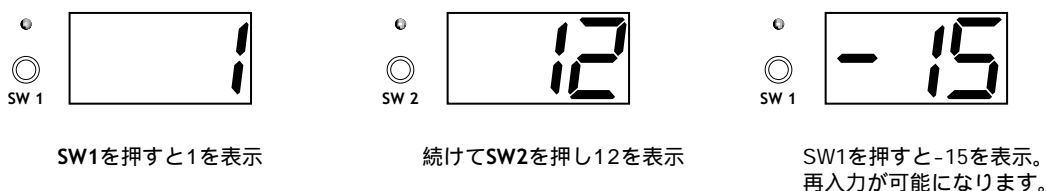
(例) コントロールスイッチ SW6を選択し、SW6のMIDIチャンネルが "12" に設定されている場合
ディスプレイには下図のように表示されます。



5. MIDIチャンネルを入力します。数値の入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。

SW0-SW9で入力する場合

1を入力する場合はSW1を,15を入力する場合はSW1とSW5を続けて押します。入力を間違えた場合は17以上の数字になるような任意のスイッチを押します。ディスプレイに初期設定のMIDIチャンネルが"-15"と表示され再入力が可能になります。



右上はMIDIチャンネルとして無効な数字 "121" が入力された為に入力ミスと判断し、再入力が可能になった状態です。
再入力の際は初期設を表す"-15"が表示されるまで任意の数字を押してください。

BANK UP/DOWN で入力する場合

MIDIチャンネルを設定するコントロールスイッチを選択して、ディスプレイにスイッチナンバーとMIDIチャンネルが表示された状態でBANK UPを押すとMIDIチャンネルが1つずつUPし、スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとMIDIチャンネルが1つずつDOWNし、押し続けると連続してDOWNします。"1"の次に、ここでの初期値が "-15" と表示されます。

6. STOREを押し、設定を保存します。コントロールスイッチのインディケータが消灯し、次に設定するコントロールスイッチが選択できます。設定を終了する場合はFUNCTIONを押しオペレートモードに戻ります。

* MIDIチャンネルを設定するコントロールスイッチを選択すると、インディケータが点灯し選択されたスイッチがエディット中であることを示します。この状態で他のコントロールスイッチを選択する場合は一度STOREを押してコントロールスイッチのインディケータが全て消えている状態にして下さい。エディット中は常にストアインディケータが点滅します。

5-3.プログラムチェンジチャンネル(PC1 - PC6)の設定

RS616はオペレートモードでプリセットスイッチを押したときにMIDIエフェクトやプリアンプのプログラムを呼び出すMIDIプログラムチェンジコマンドを送信します。
送信するプログラムチェンジコマンドの設定は

- PC1-PC6のMIDIチャンネルを設定。
- プログラムチェンジを送信するプリセットを選択。
- PC1-PC6を選択
- プログラムチェンジナンバーを設定

というプロセスで行われます。ここではPC1-PC6にMIDIチャンネルを設定する方法を説明します。
各プリセットが送信するプログラムチェンジナンバーの設定は **7.プログラムナンバーの送信** を参照してください。

1. PS2を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに"PC"と表示されます。"PC"はプログラムチェンジ・チャンネルの略でプログラムチェンジのMIDIチャンネルを設定するモードを表しています。
4. MIDIチャンネルを設定するPC1-PC6をPS1-PS6で選択します。PC1=PS1,PC2=PS2,...PC6=PS6に対応しています。プリセットスイッチのインディケータが点滅しディスプレイに選択されたPCのナンバーとMIDIチャンネルが交互に表示されます。

(例) PC2を選択し,PC2のMIDIチャンネルが"2"に設定されている場合ディスプレイには下図のように表示されます。

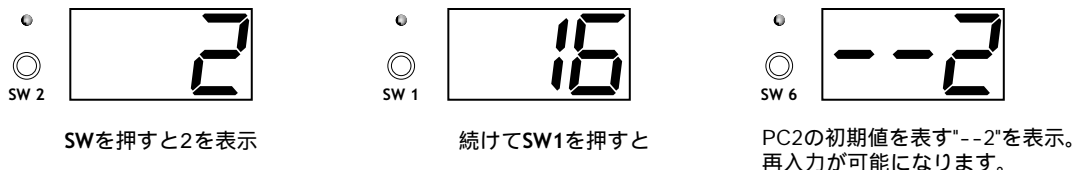


5. MIDIチャンネルを入力します。数値の入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。

SW0-SW9で入力する場合

1を入力する場合はSW1を,15を入力する場合はSW1とSW5を続けて押します。入力を間違えた場合は17以上の数字になるように任意のスイッチを押します。ディスプレイに初期設定のMIDIチャンネルが"-xx"の様に表示され再入力が可能になります。

PC2の場合



右上の図はMIDIチャンネルに無効な数字"21"が入力された為に入力ミスと判断し,再入力が可能になった状態です。再入力の際は初期値を表す"--n"が表示されるまで任意の数字を押してください。(nはPCナンバーによって異なります。)

BANK UP/DOWN で入力する場合

コントロールスイッチを選択して,ディスプレイにスイッチナンバーとMIDIチャンネルが表示された状態でBANK UPを押すとMIDIチャンネルが1つずつUPし,スイッチを押し続けると連続してUPします。BANK DOWNを押すとMIDIチャンネルが1つずつDOWNし,押し続けると連続してDOWNします。"1"の次に,初期値が"--n"と表示されます。

6. STOREを押し,設定を保存します。プリセットスイッチのインディケータが消灯し,次に設定するPCナンバーが選択できます。設定を終了する場合は FUNCTIONを押しオペレートモードに戻ります。

* MIDIチャンネルを設定するPCナンバーを選択するとプリセット・インディケータが点滅し,選択されたPCナンバーがエディット中であることを示します。この状態で他のPCナンバーを選択する場合は一度STOREを押しプリセット・インディケータが全て消えている状態にして下さい。尚,エディット中は常にストアインディケータが点滅します。

5-4.MIDIポートの設定

MIDIポートにエクスプレッションペダルを接続し、MIDIパラメータの連続可変が可能です。MIDI VCA等を接続してエクスプレッションペダルでシステムのアウトプット・レベルをコントロールしたり、ディレイタイムやピッチシフトをコントロールする等様々な用途に活用できます。エクスプレッションペダルでMIDI機器のコントロールを行う場合、RS616から送信するMIDIコンティニアスコントロールのナンバーとチャンネルを受け側の設定と合わせる必要があります。MIDIポートが送信するコントロールナンバーとMIDIチャンネルを設定します。

5-4-1.コントロールナンバーの設定

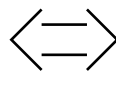
1. PS3を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに "Fc" と表示されます。"Fc" はフット・コントロールコマンドの略でMIDIポートのコントロールナンバーを設定するモードを表しています。MIDIチャンネルを設定する場合は BANK UPを押します。表示が "FC" に変わりMIDIポートのチャンネルを設定するモードになります。
4. コントロールコマンドを設定するMIDIポートを選択します。PS0=P1,PS1=P2 に対応しています。プリセットスイッチのインディケータが点滅しディスプレイに選択されたMIDIポートのナンバーとコントロールコマンドのナンバーが交互に表示されます。

* RS616のP2はオプションです。P2の増設につきましては販売店もしくは弊社サービスセンターにお問い合わせ下さい

(例) MIDIポート P1選択し、P1のコントロールナンバーが "1" に設定されている場合
ディスプレイには下図のように表示されます。



P1



交互に表示

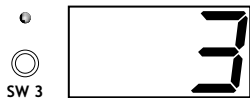


コントロールナンバー1

5. コントロールナンバーを入力します。数値の入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。

SW0-SW9で入力する場合

1を入力する場合はSW1を、18を入力する場合はSW1とSW8を続けて押します。同様に127を入力する場合はSW1,SW2,SW7を順番に押します。訂正する場合は128以上の数字になるような任意のスイッチを押します。ディスプレイに0が表示され再入力が可能になります。



SW3を押して3を入力



SW8を押して38を入力



再びSW8を押すと0を表示し再入力が可能になります。

右上の図はコントロールナンバーに無効な数字 "388" が入力された為に入力ミスと判断し、再入力が可能になった状態です。再入力の際は "0" が表示されるまで任意の数字を押してください。

BANK UP/DOWN で入力する場合

MIDIポートを選択して、ディスプレイにポートナンバーとコントロールナンバーが表示された状態でBANK UPを押すとコントロールナンバーが1つずつUPし、スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとコントロールナンバーが1つずつDOWNし、押し続けると連続してDOWNします。

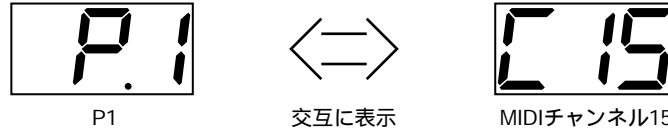
6. STOREを押して、設定を保存します。プリセットスイッチのインディケータが消灯し、次に設定するMIDIポートが選択できます。設定を終了する場合はFUNCTIONを押してオペレートモードに戻ります。

* コントロールナンバーを設定するポートナンバーを選択するとプリセット・インディケータが点滅し、選択されたポートナンバーがエディット中であることを示します。この状態で他のポートナンバーを選択する場合は一度ストアスイッチを押してプリセット・インディケータが全て消えている状態にして下さい。エディット中は常にストアインディケータが点滅します。

5-4-2.MIDIチャンネルの設定

1. 前述の1.-3.を繰り返し、ディスプレイに "Fc" が表示された状態にします。
2. BANK UPスイッチを押します。ディスプレイの表示が "FC" に変わります。
3. MIDIチャンネルを設定するMIDIポートを PS0=P1,PS1=P2 を押して選択します。プリセットスイッチのインディケータが点滅しディスプレイに選択されたMIDIポートのナンバーとMIDIチャンネルのナンバーが交互に表示されます。

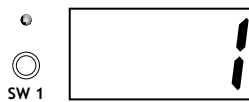
(例) ポートナンバー P1を選択し,P1のMIDIチャンネルが "15" に設定されている場合
ディスプレイには下図のように表示されます。



5. MIDIチャンネルを入力します。数値の入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。

SW0-SW9で入力する場合1を入力する場合はSW1を,15を入力する場合はSW1とSW5を続けて押します。入力を間違えた場合は17以上の数字になるような任意のスイッチを押します。ディスプレイに初期設定のMIDIチャンネルが "--1" の様に表示され再入力が可能になります。

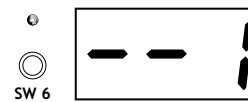
P2の場合



SW1を押すと1を表示



続けてSW1を押すと
11を表示



6を押すとP2の初期値を表す
"--1"を表示。再入力が可能になります。

右上の図はMIDIチャンネルに無効な数字 "116" が入力された為に入力ミスと判断し、再入力が可能になった状態です。再入力の際は各Pの初期値を表す "--1" が表示されるまで任意の数字を押してください。(P1の初期値は1です。)

BANK UP/DOWN で入力する場合

ポートナンバーを選択して、ディスプレイにポートナンバーとMIDIチャンネルが表示された状態でBANK UPを押すとMIDIチャンネルが1つずつUPし、スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとMIDIチャンネルが1つずつDOWNし、押し続けると連続してDOWNします。"1"の次に初期設定のMIDIチャンネルが "--1" と表示されます。

6. STORE押し、設定を保存します。プリセットスイッチのインディケータが消灯し、次に設定するポートナンバーが選択できます。設定を終了する場合はFUNCTIONを押しオペレートモードに戻ります。

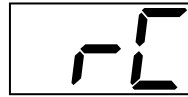
* ポートナンバーを選択するとプリセット・インディケータが点滅し、選択されたポートナンバーがエディット中であることを示します。この状態で他のポートナンバーを選択する場合は一度STOREを押しプリセット・インディケータが全て消えている状態にして下さい。エディット中は常にストアインディケータが点滅します。

5-5. レシーブチャンネルの設定

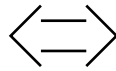
RS616を外部のMIDIコントローラーやシーケンサーでコントロールするときのMIDIレシーブチャンネルを設定します。

1. PS4を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに "rC" と現在のレシーブチャンネルが交互に表示されます。"rC"はレシーブ・チャンネルの略でMIDIレシーブチャンネルを設定するモードを表しています。

(例) レシーブチャンネルが "16" に設定されている場合ディスプレイには下図のように表示されます。



レシーブCH

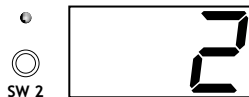


交互に表示

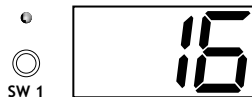


MIDIチャンネル16

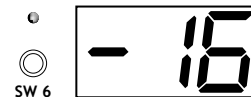
4. MIDIチャンネルを入力します。数値の入力はSW0-SW9がBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。SW0-SW9で入力する場合1を入力する場合はSW1を、15を入力する場合はSW1とSW5を続けて押します。入力を訂正する場合は17以上の数字になるような任意のスイッチを押します。ディスプレイに初期設定のMIDIチャンネルが"-16"の様に表示され再入力が可能になります。



SWを押すと2を表示



続けてSW1を押すと



入力値が21となりインディケータは初期値を表す"-16"を表示。再入力が可能になります。

BANK UP/DOWN で入力する場合

MIDIチャンネルを設定するコントロールスイッチを選択して、ディスプレイにスイッチナンバーとMIDIチャンネルが表示された状態でBANK UPを押すとMIDIチャンネルが1つずつUPし、スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとMIDIチャンネルが1つずつDOWNし、押し続けると連続してDOWNし、1の次に初期値を表す"-16"が表示されます。

5. STOREを押し、設定を保存します。設定を終了する場合はFUNCTIONを押しオペレートモードに戻ります。

6. プロテクトモードの設定

プロテクトモードはコントロールスイッチ(SW0 - SW15)とストアスイッチの機能をロックし、誤ってプリセット内容やMIDIの設定が変更されるのを防ぐモードです。

1. PS6を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに "nor" と表示されます。"nor"はノーマルモードを表します。
4. BANK DOWNを押します。表示が"Prt"に変わりプロテクトモードを表します。
5. ストアスイッチを押しオペレートモードに戻ります。ディスプレイのバンクナンバーの右下にドットが表示されプロテクトモードであることを表します。

ノーマルモードに戻るには上記 1-2を繰り返し "Prt"が表示された状態で BANK UPを押し、"nor"が表示された状態で STOREを押してください。



ノーマルモード



プロテクトモード





7.プログラムナンバーの送信

プリセットを呼び出したときに送信するプログラムナンバーを設定します。


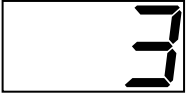




1. プログラムナンバーを設定するプリセットを選択します。
2. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
3. ディスプレイに "Pc" と表示されます。"Pc" はプログラム・チェンジの略でプリセットが送信するプログラムナンバーを設定するモードを表しています。
4. 送信するMIDIチャンネルPC1 - PC6をPS1 - PS6で選択します。PC1 - PC6 にはそれぞれ任意のMIDIチャンネルが設定できます。(設定方法は 5-3.プログラムチャンネルの設定MIDIチャンネルの設定をご覧ください)
5. ディスプレイにPCナンバーと現在のプログラムナンバーが交互に表示されます。PC1-PC5は工場出荷状態では空白です。PC6にはプリセット1-1にプログラムナンバー1,プリセット1-2にプログラムナンバー2といった様にプログラムナンバーが昇順に設定されています。

(例) BANK4 - PS(プリセット)4にプログラムナンバーを設定する場合

BANK4 PS4の初期設定

	⇔	
PC1	交互に表示	設定されていない状態
	⇔	
PC1	交互に表示	プログラムナンバー24

5. プログラムナンバーを入力します。数値の入力はSW0-SW9かBANK UP /BANK DOWN スイッチで行います。SW0-SW9で入力する場合1を入力する場合はSW1を,18を入力する場合はSW1とSW8を続けて押します。同様に127を入力する場合はSW1,SW2,SW7を順番に押します。訂正する場合は入力値が128以上になるように任意のスイッチを押します。ディスプレイに0が表示され再入力が可能になります。

					
	SW3を押すと3を入力		続けてSW7を押し37を入力		訂正の為再びSW7を押すと0を表示して再入力が可能になります。

右上の図はプログラムナンバーに無効な数字 "377" が入力された為に入力ミスと判断し,再入力が可能になった状態です。再入力の際は "0" が表示されるまで任意の数字を押してください。

BANK UP/DOWN で入力する場合

設定するMIDIチャンネルを選択して,ディスプレイにPCナンバーとプログラムナンバーが表示された状態でBANK UPを押すとコントロールナンバーが1つずつUPし,スイッチを押し続けると連続してUPします。

BANK DOWNを押すとコントロールナンバーが1つずつDOWNし,押し続けると連続してDOWNします。

6. STOREを押し,設定したプログラムナンバーを保存します。プリセットスイッチのインディケータが消灯し,次にプログラムナンバーを設定するMIDIチャンネルPC1 - PC6が選択できます。設定を終了する場合はFUNCTIONを押してオペレートモードに戻ります。

8.マスター/スレーブモード

2台のRS616をリンクさせ、1台はステージのセンター、1台はステージサイドというようになりリモートコントロールを行うモードです。スレーブ側はプリセットの呼び出しとグローバルプリセットの編集以外は行えなくなります。またプリセットの編集、MIDI機能等の設定に比べ、MIDIデータの送信もマスター側からしか行いませんのでMIDI機器には必ずマスター側から接続してください。

8-1. マスター/スレーブモードを設定する

* **マスター/スレーブモードへ入る場合はスレーブになる方のRS616を設定します。**

- 2台のRS616の③DATA / LINKをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。
(電源をOFFにした状態で行ってください。)
- スレーブにしたいRS616の PS5を押します。次に BANK UPもしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
- FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
- ディスプレイに "rEc" と表示されます。ディスプレイに"-2-"が表示された場合はすでにマスター/スレーブモードになっています。解除する場合は **8-2.マスター/スレーブモードを解除する** を参照してください。
- PS5を押します。ディスプレイにスレーブを表す"-1-"が表示されます。
- STOREを押します。ディスプレイが点滅しマスター側のRS616と同じプリセットに変わります。
データリンク状態を表す データ/リンクインディケータとスレーブ側を表す ストアインディケータが点灯します。

8-2. マスター/スレーブモードを解除する

* **マスター/スレーブモードを解除する場合はマスター側のRS616から設定します。**

- マスター側のRS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
- FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
- ディスプレイに "-2-" と表示されます。ディスプレイに"rEc"が表示された場合はマスター/スレーブモードではありません。
- BANK UPを押します。ディスプレイにノーマルモードを表す"-0-"が表示されます。
- STOREを押します。マスター/スレーブモードが解除されます。

8-3.再び電源をONにした時の動作

RS616はマスター/スレーブの設定を電源をOFFにした後も記憶しています。その為、一度マスタースレーブの設定をしたRS616の電源を再びONにした時は、状況に応じて以下の操作をして下さい。

* RS616には電源スイッチがありませんので、パワーサプライもしくはMIDIプラグから電源を供給されている場合をON、電源が供給されていない状態をOFFとします。

8-3-1. 電源投入後にマスタースレーブモードを保つ場合

- 電源ON時に2台のRS616が接続されていない場合、マスター側の ディスプレイは通常と同じくバンクナンバーを表示しますが、スレーブ側は"-1-"を表示します。
 - 2台のRS616の DATA / LINKをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。
 - スレーブ側のディスプレイに"rdy"が表示され待機中を示します。
 - マスター側のRS616の ストアスイッチを押します。2台のRS616が同じプリセットに変わります。
データリンク状態を表す データ/リンクインディケータとスレーブ側を表す ストアインディケータが点灯します。
- * 電源投入時に2台のRS616が接続されている場合は、3.の状態になります。

8-3-2. 電源投入後にマスタースレーブモードを解除する場合。

再び電源をONにした時に2台のRS616が接続されていない場合、マスター側は 上記7-2.(マスター - スレーブモードを解除する)を実行してください。スレーブ側("-1-"が表示された場合)を単体で電源ONした場合、全てのスイッチがロックされているのでエディットモードに移行できません。スレーブ側のRS616を単体でノーマルモードに戻すには以下の処理をします。

- 電源をOFFにします。
 - BANK UPと BANK DOWNを同時に押しながら電源をONします。
 - ディスプレイに "-1-" と表示されます。
 - BANK UPを押します。ディスプレイにノーマルモードを表す"-0-"が表示されます。
 - STOREを押します。マスタースレーブモードが解除されます。
- * マスタースレーブモードに設定し、マスター側になっているRS616にマスタースレーブモードが解除されているRS616を接続すると接続されたRS616は"rEc" <->"rdy"を繰り返し表示し続けます。
マスター側のマスタースレーブ設定を解除してから再び設定をやり直してください。

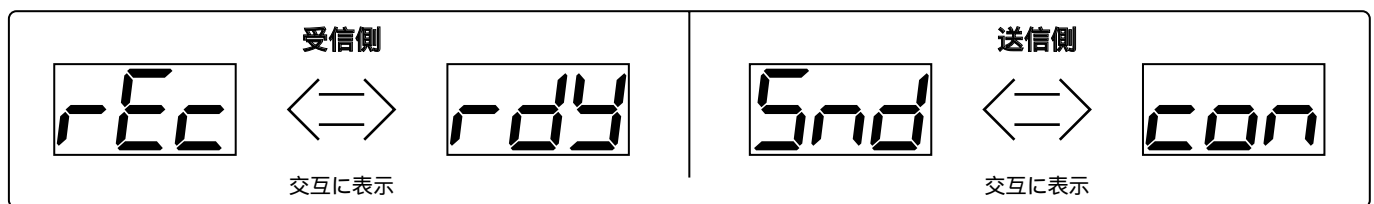
9.データの通信

9-1. 2台のRS616データ通信

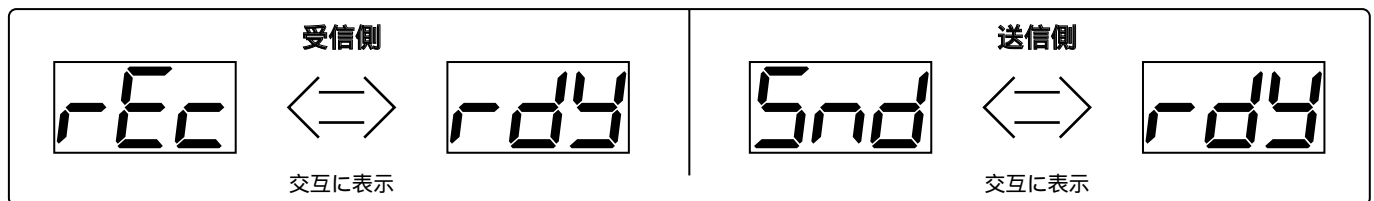
RS616のプリセットやMIDI設定等のデータを他のRS616と受け渡しします。

9-1-1.他のRS616からデータを受信する。

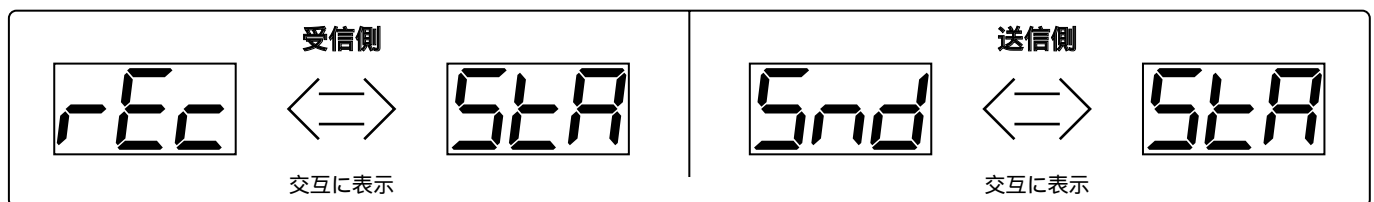
- 2台のRS616のDATA / LINKポートをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。
(電源をOFFにした状態で行ってください。)
- 受信側のRS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
- FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
- ディスプレイに"rEc"と表示されます。ディスプレイに"-2-"が表示された場合はマスター/スレーブモードです。PS1を押してディスプレイに"rEc"を表示させてください。
- STOREを押します。ディスプレイが点滅し送信側のRS616とリンクする準備を始めます。リンクが確立すると受信側のディスプレイは"rEc" <-> "rdy"を、送信側のRS616は"Snd" <-> "con"を交互に表示します。
受信側,送信側ともに,データリンクが確立した状態を表す データ/リンクインディケータが点灯し ストアインディケータが点滅します。



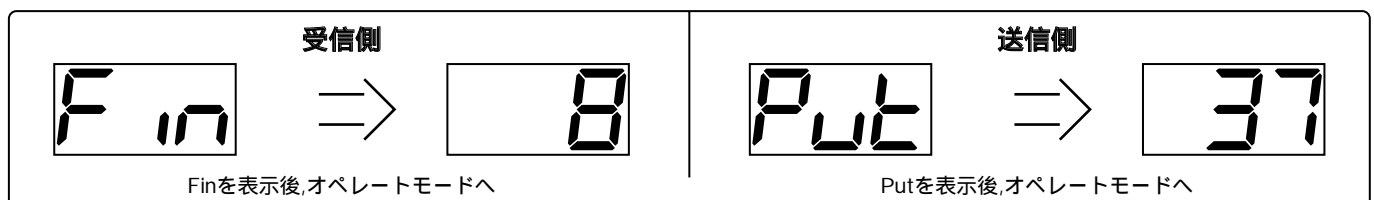
- 送信側RS616のSTOREを押します。ディスプレイの表示が"Snd" <-> "rdy"に変わります。



- 再び送信側RS616のSTOREを押します。送信側RS616のディスプレイは送信中を表す"Snd" <-> "StA"が交互に表示され、受信側RS616のディスプレイは受信中を表す"rEc" <-> "StA"が交互に表示されます。



- 送信側RS616には送信終了を表す"Fin"が、受信側RS616には受信終了を表す"Put"が表示されオペレートモードに戻ります。

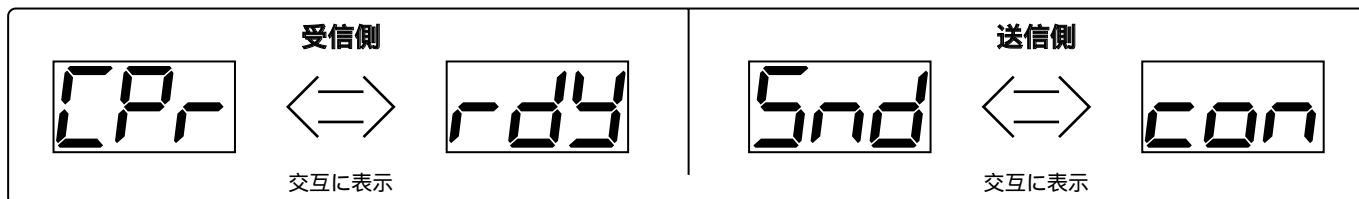


* RS616同士のデータ通信では"データの送信"という概念がありません。"データの送信"は他のRS616の"受信"として操作してください。

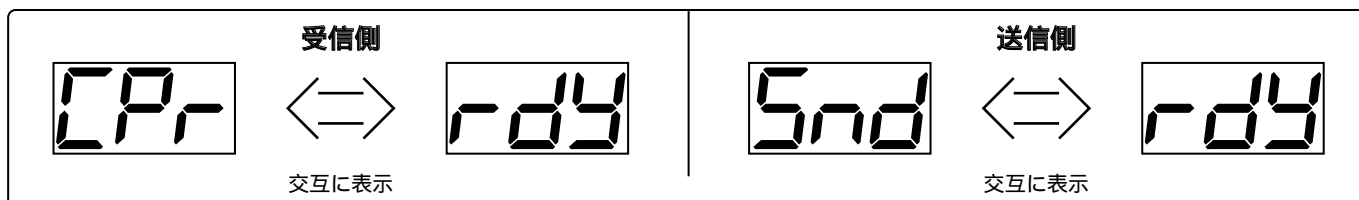
9-1-2.データの比較 (Compare Mode)

2台のRS616のデータを比較し、内容が同じかを確認します。ここでは8-1で行ったデータの受信側と送信側を比較します。

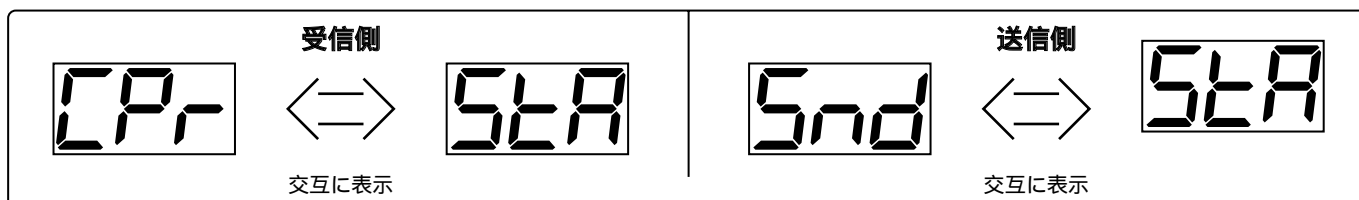
- 2台のRS616のDATA / LINKをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。
(電源をOFFにした状態で行ってください。)
- 受信側RS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
- FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
- ディスプレイに "rEc" と表示されます。
- PS4を押します。ディスプレイに "Cpr" と表示され"Compareモード"を表します。
- STOREを押します。ディスプレイが点滅し送信側RS616とリンクする準備を始めます。リンクが確立すると受信側のディスプレイは"CPr" <->"rdy"を,送信側のRS616はSnd" <->"con"を交互に表示します。
受信側,送信ともに,データリンクが確立した状態を表す データ/リンクインディケータが点灯し ストアインディケータが点滅します。



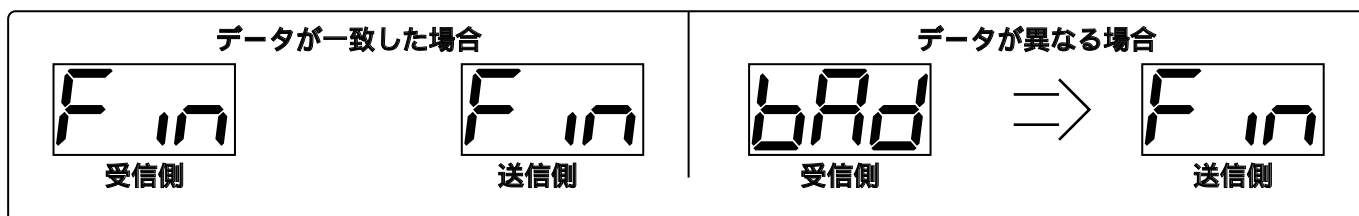
- 送信側RS616のSTOREを押します。ディスプレイの表示が"Snd" <->"rdy"に変わります。



- 再び送信側RS616のSTOREを押します。送信側RS616のディスプレイは送信中を表す"Snd" <->"StA"が交互に表示され,受信側RS616のディスプレイは受信中を表す"CPr" <->"StA"が交互に表示されます。



- 比較が完了し,データが一致した場合は両方のディスプレイに"Fin"が表示されます。データが異なる場合は,受信側RS616のディスプレイに"bAd"と表示されデータが一致していないことを表します。



- FUNCTIONが STOREを押してオペレートモードに戻ります。

9-2. コンピュータとのデータ通信

RS616のデータをコンピュータにバックアップしたり、バックアップしたデータをRS616に取り込むことが可能です。データはcsv形式ですので表計算ソフト等での編集にも対応しています。

コンピュータとの通信は使用する機器やOS,ソフトウェア等で異なりますのでここではコンピュータとの接続が出来ることを前提に、Windows に標準装備されている"ハイパー・ターミナル"を例にして説明します。通信ソフトやコンピュータについては各メーカーにお問い合わせ下さい。

9-2-1.プリセットデータをコンピュータに送信する。

1. DATA / LINKとWindowsマシンの通信ポートをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。ここではCOM1に接続します。
2. "メモ帳"等のテキストエディタでデータを取り込むファイルを作ります。ファイル名は"RS616_Presetdata"とします。
3. RS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
4. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
5. ディスプレイに"rEc"と表示されます。
6. PS2を押します。ディスプレイにプリセットデータの送信を表す"SdP"が表示されPS2のインディケータとストアインディケータが点滅します。
7. ハイパーターミナルを起動します。
8. 接続の設定画面になります。ここでは新しい接続名をRS616とします。OKをクリックします。
9. 次の設定画面になります。接続方法をCOM1にします。
10. ポートの設定画面になります。下記のように設定します
ビット/秒: 38400
データビット: 8
パリティ: なし
ストップビット: 1
フロー制御: ハードウェア
11. OKをクリックします。RS616とコンピュータのリンクが確立されるとデータリンクインディケータが点灯します。
12. STOREを押します。RS616のディスプレイは"Snd" <-> "rdy"が交互に表示されます。コンピュータのウィンドウに"Request to receive your data"と表示されます。
13. 転送からテキストのキャプチャを選択します
14. "参照"から"RS616_Presetdata"を選択します。
15. "開始"をクリックします。
16. RS616のSTOREを押します。
17. データがウィンドウに取り込まれ最終行にENDと表示されます。RS616のディスプレイにはFinが表示されます。
18. 通信一切断でリンクを切断するかハイパーターミナルを終了します。"セッションRS616を保存しますか" となりますので保存して終了してください。次回からは保存データ呼び出すだけでRS616とリンクします。
19. "RS616_Presetdata"を開いてデータが取り込まれていることを確認してください。

9-2-2.コモンデータをコンピュータに送信する。

各コントロールスイッチとMIDIポートの設定,P1 - P6のMIDIチャンネル,レシーブチャンネルの設定,グローバルプリセットのデータをコモンデータと呼びプリセットデータとは別に管理します。コモンデータの送信方法を説明します。

1. DATA / LINKとWindowsマシンの通信ポートをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。この場合はCOM1に接続します。
2. "メモ帳"等のテキストエディタでデータを取り込むファイルを作ります。ファイル名は"RS616_Commondata"とします。
3. RS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
4. FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける)します。
5. ディスプレイに"rEc"と表示されます。
6. コモンデータを送信する場合は PS3を押します。ディスプレイにコモンデータの送信を表す"SdPC"が表示されPS3のインディケータとストアインディケータが点滅します。
7. ハイパーターミナルを先に保存した"RS616"というファイルから起動すると、自動的にRS616とリンクします。リンクの確立を表示するデータリンクインディケータが点灯します。
8. STOREを押します。RS616のディスプレイは"Snd" <-> "rdy"が交互に表示されます。コンピュータのウィンドウに"Request to receive your data"と表示されます。
9. 転送からテキストのキャプチャを選択します
10. "参照"から"RS616_Presetdata"を選択します。
11. "開始"をクリックします。
12. RS616のSTOREを押します。

9-3.コンピュータのデータをRS616に取り込む

- DATA / LINKとWindowsマシンの通信ポートをD-SUB9pinインターリンクケーブルで接続します。この場合はCOM1に接続します。
- RS616の PS5を押します。次に BANK UP もしくは BANK DOWN を押してプリセットスイッチのインディケータを点滅状態にします。
- FUNCTIONを長押し(約2秒間押し続ける事)します。
- ディスプレイに "rEc" と表示されます。
- プリセットデータを送信する場合は PS2を押します。ディスプレイにプリセットデータの送信を表す"SdP"が表示されPS2のインディケータとストアインディケータが点滅します。
- 8-1で作成した"RS616"ファイルからハイパーターミナルを起動します。リンクの確立を表示するデータリンクインディケータが点灯します。
- ファイルメニューからプロパティを選択します。
- ローカルエコーのチェックボックスをONにします。
- OKをクリックしてターミナルウィンドウに戻ります。
- STOREを押します。RS616のディスプレイは"rEc"<->"rdy"が交互に表示されます。コンピュータのウィンドウに Request to send your dataと表示されます。
- 転送からテキストの送信を選択します
- "参照"から"RS616_Presetdata"を選択します。
- "開く"をクリックします。データが送信されます。
- データの取り込みが完了するとRS616のディスプレイには"Put"と表示されます。
- 通信一切断でリンクを切断するかハイパーターミナルを終了します。"セッションRS616を保存しますか"というアラートになりますので保存して終了してください。次回からは保存データを読み出すだけでRS616とリンクします。

9-4.コンピュータのデータを編集する。

RS616のデータはコンマ区切りのテキスト形式(csv)ですので、表計算ソフトに取り込んで編集が可能です。編集の際は下記の項目に注意してください。

- * ON,OFFのデータは半角大文字で入力してください。
- * TITLE,SOUNDのエリアに書き込む情報は半角英小文字です。記入された文字はRS616側で無視されます。

PRESET	TITLE	SOUND	BANK	PS	SW0	SW1	SW2	SW3	SW14	SW15	PGM1	PGM2	PGM5	PGM6
			1	1	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	0	0	0	0
			1	2	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	0	0	0	2
			1	3	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	3
			1	4	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	4
			1	5	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	5
			1	6	ON						0	0	0	6
			2	1	OFF						0	0	0	7
			2	2	ON						0	0	0	8
									OFF	OFF	0	0	0	9
									OFF	ON	0	0	0	10
									OFF	OFF	0	0	0	11
			2	6	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	12
			3	1	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	0	0	0	13
			3	2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	14
			3	3	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	0	0	0	15
			3	4	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	0	0	0	16
			3	5	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	0	0	0	17
			3	6	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	0	0	0	18
			40	6										112

SW0-SW15のON,OFFを半角大文字で記入します。

SONG TITLE,SOUND NAME等を半角英子文字で記入するエリアです

プリセットが送信するプログラムチェンジナンバーを半角数字で入力します。

* BANK / Presetナンバーは任意に変更出来ます。但し同じBANKの6Presetは連続していません。

BANK	PS
2	1
2	3
2	4
2	5
2	2
2	6
1	5
1	3
1	1
1	2
1	6
1	4

BANK	PS
2	1
1	3
2	4
2	5
2	2
2	6
3	5
1	3
2	3
1	2
1	6
4	6

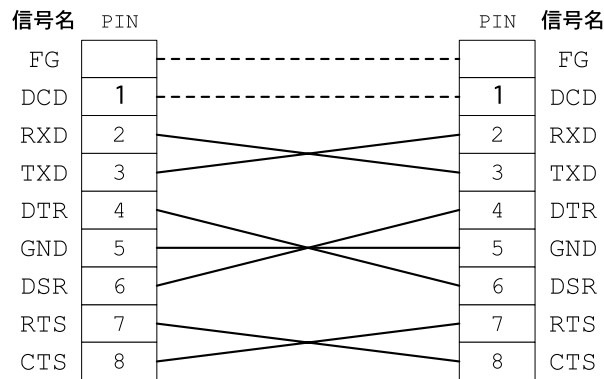
*この機能を使うとSET LIST(曲順)の変更等に素早く対応できます

10. 資料

メモリーの初期設定

Item	MIDI ch	Control#	DATA / Action
PGM1	1	-	ALL Presets: DISABLE
PGM2	2	-	ALL Presets: DISABLE
PGM3	3	-	ALL Presets: DISABLE
PGM4	4	-	ALL Presets: DISABLE
PGM5	5	-	ALL Presets: DISABLE
PGM6	16	-	Preset; #1:1,#2:2,...,#128:128,#129:1,#130:2,...,#240:112
SW0	15	11	ALL Presets: OFF
SW1	15	12	ALL Presets: OFF
SW2	15	13	ALL Presets: OFF
SW3	15	14	ALL Presets: OFF
SW4	15	15	ALL Presets: OFF
SW5	15	16	ALL Presets: OFF
SW6	15	17	ALL Presets: OFF
SW7	15	18	ALL Presets: OFF
SW8	15	31	ALL Presets: OFF
SW9	15	32	ALL Presets: OFF
SW10	15	33	ALL Presets: OFF
SW11	15	34	ALL Presets: OFF
SW12	15	35	ALL Presets: OFF
SW13	15	36	ALL Presets: OFF
SW14	15	37	ALL Presets: OFF
SW15	15	38	ALL Presets: OFF
P1	1	1	-
P2	1	4	-
MIDI RCV	16	-	-

- ・ Dサブ9pin インターリンクケーブル (クロスケーブル) 【下図参照】



- ・ Dサブ25pinリバースケーブル【下図参照】に25pin-9pin変換コネクタを装着

